

【例題演習で理解する】

# ワイブル解析の基礎と信頼性試験：ばらつきの考え方

日時

2017年 12月15日 (金)

10:30 ~ 17:00

税込受講料

1名 48,600円

2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
 JR中央線(緩行線)  
 地下鉄東西線(A5出口)  
 地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)  
 都営地下鉄大江戸線(A4出口)

＜お申込要項＞

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

普段の仕事の中でワイブル解析を行っている方も、これから使おうとされている方も、専用プログラムを使用して計算するだけでなく分布モデルやパラメータの意味を知ること、使い方に注意すべきことなど解ってくるが多いと思います。

そこで、分布のモデルや式の解説を行った後に、ワイブル解析用グラフ用紙にデータをプロットする演習をおこなうことで、ワイブル分布の理解を深めて頂けます。また、モンテカルロシミュレーションを使った信頼性試験設定をとおり、ばらつきを相場として捉える考え方を事例で説明いたします。

演習のため電卓と定規をご持参下さい。

講師

相原 敏彦氏 日産自動車(株) 製品設計技術革新部  
 製品設計技術戦略企画グループ  
 日本科学技術連盟認定 中級信頼性技術者

内容

1. 製品品質保証における信頼性データの位置づけ
2. 分布とパラメータ
3. 母集団とサンプリング
4. 確率密度関数
5. 正規分布・偏差値・工程能力  
 (1) 正規分布 (2) 偏差値 (3) 工程能力
6. 信頼度関数・ハザード関数  
 (1) 信頼度関数 (2) ハザード関数 (3) パスタ曲線
7. ワイブル分布  
 (1) ワイブル分布の式 (2) ワイブル確率紙の軸の設定  
 (3) ワイブル分布のパラメータ (4) 値一定でm値を変える  
 (5) m値一定で 値を変える
8. 完全データのプロット方法  
 【演習1】ワイブル確率紙による分布パラメータ推定
9. 不完全データのプロット法  
 【演習2】ワイブル確率紙による不完全データプロット
10. 再現試験による耐久試験目標の設定
11. 累積故障率の算出と耐久試験目標の設定
12. モンテカルロ法の考え方  
 (1) モンテカルロ法の考え方 (2) 乱数 (3) シミュレーション
13. 統計データの信頼性
14. ばらつきの相場  
 (1) ばらつきの相場を把握する (2) 防振ゴムのばらつきの相場  
 (3) 金属疲労のばらつきの相場
15. ワイブルプロット事例 Solution and Consulting / 質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675

<http://www.ebrain-j.jp/>

E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 ワイブル解析の基礎と信頼性試験：ばらつきの考え方

セミナーコード

1101-171215

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/12/15 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	( )
			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				